

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

A. コースワークの充実・強化

①人材養成目的に沿った科目構成の整理

●金沢工業大学工学研究科知的創造システム専攻

「大学院ポートフォリオ教育による単位実質化」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

ポートフォリオシステムの構築を行う上で、各教員からのヒアリングを実施し、科目構成をシステム上に組み込む作業が困難であった。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

困難であったこのと具体的要因は、以前より存在する科目構成を再編成することにより、これまでの教員の考え方や、指導について見直しを行ったため、全体の構成を整えるのに時間を要した。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

対応方法としては、定期的なミーティングを繰り返すとともに、明確な人材目標を最初に設定し、その中で必要な科目構成を順次整えていった。その結果、システム構築と同時に教育内容の整理に繋がった。